

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2024 年 11 月 1 日

事業所名:児童デイサービス
ライトアップ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	その日の利用児童の目的に応じて、室内や野外への活動を、工夫しています。 今後も子供たちが、安全に楽しく活動できるように工夫していきます。	はい:15名 いいえ:1名 わからない:1名	その日の利用児童の状況に合わせて、学習と活動スペースの設定を心掛けています。 4月以降は戸外活動にも、取り入れています。
	2 職員の適切な配置	利用児童数に応じて、人員配置をしています。 (安全確保の為、その日の状況に応じて、多めに職員を配置している。)	はい:17名	より充実した支援の為に、職員研修の機会を確保し、専門性の向上に努めます。 (児童分野での経験と、専門性を備えたスタッフの配置)
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	室内は視覚的に構造化を、配慮した環境を設定しています。	はい:15名 どちらともいえない:2名	多目的室で創作活動等に利用する部屋と、個別や小集団活動に使用できる部屋を、確保しています。今後も職員で、より良いものを提供できるよう、努めていきたい。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃、消毒を行い、清潔な環境を心掛け常時空気清浄機をつけ、冬場は加湿器を設置しています。また、落ち着いて過ごせるように、活動に応じて、適切な生活空間を確保しています。	はい:17名	活動スペースは2か所ですが、多目的に使用出来るようになっています。郊外での活動については、ライトアップの隣が小学校なので、許可を得て、遊具で遊ぶ事もあります。今後も子供達の意見を尊重しながら、楽しんで頂けるようにしていきます。感染状況にも配慮した対策に努めていきます。子供たちが伸び伸びと活動できる空間となるように努めていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	各研修や地域での、各関係機関との連絡協議会等を通じて、定期的に改善点を見直し、その都度必要に応じて、状況把握や意見交換を実施しています。申し送りノートを活用し、情報共有出来るようにしている。日頃の療育を振り返り、より良い支援の向上に取り組んでいます。		POCAサイクルを心掛け、職員でミーティングを行っております。今後も継続して、実施していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は実施していませんが、今後は相談支援専門員や他の事業所の方々の、ご意見を参考にしながら業務改善につなげていきます。		今後、必要に応じて実施を検討してまいります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修に積極的に参加し、職場内で共有しています。		今後も外部研修には、積極的に参加していくと共に、内部研修も、必要に応じて行っていき職員の資質の向上に、努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	必要に応じて、ご利用者が発達センターや医療機関で行った検査結果を、保護者様の同意を得て、お持ちいただき、発達状況を把握しています。それにより現状の課題を見極め、計画を作成しています。本人及び御家族より、ニーズ等を聞き取り、個別支援計画に反映しています。	はい:16名 どちらともいえない:1名	保護者様からの意向や、担当支援事業所からの意見を組み合わせ、工夫して作成しています。行動観察等の記録も、生かし個別支援計画を、作成しています。今後も、利用児童及び、その保護者様の立場に立って、効果的な支援を行うように心がけていきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状態に合わせ、その都度必要に応じてモニタリングを実施しながら、新たな計画を作成しています。 (一人一人の置かれている状況に応じて、個別支援、集団支援を実施しています。)		個別の課題、集団の中での育ちを踏まえて、支援計画の作成に、取り組んでいきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々のニーズに応じて達成可能な目標や支援内容を記載できるように、取り組んでいます。 (個々の個別支援計画に、記載しています。)	はい:16名 どちらともいえない:1名	継続して、実施していきます。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	子供の特性や目標に応じて、明確な支援を作成しながら、実施しています。	はい:15名 どちらともいえない:2名	個別支援計画に沿った支援を行っています。継続して、実施していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	事業所内で個々の内容を検討し、スタッフ全員で周知し実践しながら活動プログラムについて、立案しています。		支援の仕方や、活動の進め方等、共通の目標をもって、取り組む事を目指していきます。子供たちが楽しく、色々な体験が出来るような活動内容の工夫をしていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日や長期休暇に合った取り組み(個別、集団、校外学習、作業学習)等の計画を立案しながら、取り組んでいます。滞在時間やメンバーを加味して、活動を設定しています。		一人一人の発達や状況に応じた課題設定を、行なっています。継続して、実施していきます。特に、休日、長期休暇においては、野外活動など平日では取り組む事が出来ない体験活動に、積極的に取り組んでいます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎月、全体や個別活動内容をスタッフ全員で検討しながら、実施している。(子供一人一人の、特性に合わせたプログラム内容を計画し、達成度に合わせ、実施しています。)	はい:15名 どちらともいえない:2名	児童に合った居場所であるように、プログラムを企画できるように努めていきます。今後も子供の成長・発達段階を踏まえ、個々に必要な経験を提供できるように、取り組んでいきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	活動の前後で、職員のミーティングを行い、役割分担や、その日の利用児童の情報を共有して個々の、適切な支援を、確認しています。		子供の様子や支援の振り返りを、日々記録に残し次回のステップアップや改善につなげていきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日、当日の利用児童の支援内容を振り返り、個々の情報を共有して、適切な支援のあり方を共有しています。		継続して、情報共有を実施して、適切な支援のあり方に、取り組んでいきます。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日、個々の活動内容を記録し、必要に応じて支援方法の内容や、改善に努めています。		今後も更に、記録を充実させながら職員間での連携、情報の連携、情報の共有を密にしながら、継続して実施していきます。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングは、6か月毎に実施していますが、必要時には随時、行っています。		必要に応じてモニタリングを行い、その都度、個々に合った計画の、見直しを行っていきます。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	担当者会議には、必ず参加して可能な限り複数で、会議での情報を確認し共有しています。		引き続き会議の内容に応じて、管理者や児発管、担当者など適任者の出席を選定しながら、取り組んでいきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なし。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なし。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で の支援内容等の十分な情報共有	担当者会議に参加して、情報提供と情報収集に努めています。 保護者の方々からの支援内容や、相談支援事業所との、情報共有を必要に応じて行っています。		継続して、今後も必要に応じて、連携を取りながら実施していきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等 についての十分な情報提供、	担当者会議に参加して、情報提供と情報収集に努めています。		今後もデイサービスでの取り組んできた内容の、情報提供に、努めていきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達支援センター開催の研修等の、職員の積極的な参加をしながら、スキルアップを図っています。また、助言して頂いたことを業務改善につなげています。		引き続き、積極的に研修会等に参加しながら、より充実した支援が提供できるように、職員のスキルアップを、目指していきます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する 機会の提供	ご利用者の状態に応じて、必要があれば、考慮して行っています。 地域の公園やイベントに参加し、地域との関わりを持っていけるように取り組んでいます。	はい:5名 どちらともいえない:6名 わからない:6名	保護者の評価や意見を聞きながら検討していきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の行事等には、積極的に参加しています。		地域の方々との、良い関係を築き、強化していきます。今後、事業所主催で、地域の方々との交流を、実施していきたいと思えます。また、利用者様の意見も大切に、考えていきます。
保護者への説明等	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者負担等については、契約時に説明を行っています。支援内容については、相談支援員の方々からの情報提供や、必要に応じて保護者の方々との、支援内容を確認しています。	はい:17名	引き続き、丁寧に説明する事を心掛けていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	その都度、必要に応じて個人面談や、担当の相談支援員との連携を図り、支援内容の確認を、行っています。	はい:16名 どちらともいえない:1名	継続して、丁寧な説明を実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明等	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	必要に応じて、保護者の方々との相談に応じる体制を作っており、支援に関すること等を、一緒に考え、解決できるようにしています。	はい:12名 どちらともいえない:2名 いいえ:2名 わからない:1名	多くの職員が、ペアレントトレーニングの研修を受講して、共通理解の元で、取り入れていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡ノートや、送迎時、気が付いた事は、その都度保護者に連絡して、情報交換を行っています。(情報交換をどのような手段で行うか、ツールを増やして行けるように、考えています。)	はい:15名 どちらともいえない:1名 いいえ:1名	引き続き継続して、実施していきます。情報伝達の手段として、LINEなどを活用し対応しています。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	児童発達支援管理責任者を中心に、相談内容により、各関係機関との連絡を密にしながら、助言させていただいております。	はい:13名 どちらともいえない:1名 いいえ:2名 わからない:1名	相談内容に応じた、適切な対応や助言を行っていけるように、積極的に研修等に参加しながら、問題解決を図っていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会の活動は、正式には行っていません。が、今後、事業所内での行事を通して、保護者の方々の、連携支援を行っていきます。	はい:10名 どちらともいえない:2名 わからない:5名	情報の共有や、保護者様同士の連携を支援していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	頂いた相談や申し入れに対しては、迅速かつ適切に、対応するようにしています。	はい:16名 どちらともいえない:1名	保護者からの苦情に対しては、すみやかな状況説明と、改善方法を伝えるよう、心掛けていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子供の特性などを把握した上で配慮しています。連絡ノートに、日々の変化を詳細に記入し、必要に応じて、保護者の方々とは直接話し合いをさせていただき、子供達には、その都度、個別に意思疎通を図っています。(分かりやすい伝達方法を工夫したり、伝わる方法を利用者や保護者の方々に、合わせています。)	はい:16名 どちらともいえない:1名	必要に応じて、子供達や保護者の方々との、関係性を密にしながら、個々に対応していきます。伝達ツールとして、LINEなどを使用して情報共有を、しやすい環境を作っていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	連絡ノート、メール、口頭などを中心に連絡していますが、今後は、定期的に会報や活動概要を、発信していけるように、取り組んでいます。	はい:12名 どちらともいえない:2名 いいえ:1名(会報やHPは、無いので) わからない:2名	定期的に会報や子供達の、活動内容を発信できるように、より良い活動方法を検討していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	十分に注意を払って、管理しています。	はい:17名	引き続き、個人情報の管理を、徹底していきます。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを策定し、職員全員が、周知していません。緊急時対応マニュアルや感染症対応マニュアルを、作成しています。	はい:17名	地域の行政機関との連携や、職員の研修等により、職員や保護者の方々への、周知徹底を図っていきます。また、定期的に各マニュアルを配布できるように努めてまいります。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に、様々な災害を想定した避難訓練を実施しています。また、防災に関する外部研修に、積極的に参加しながら、より安全に児童・保護者の方々を含めた訓練の実施に努めてまいります。	はい:15名 どちらともいえない:1名 わからない:1名	今後は様々な事態を想定した訓練を行ったり、利用児童ごとの対応の仕方の、訓練を行っていき、継続して実施していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止に関する研修については、職員が必ず受講し、職員間で共有しています。今後も外部研修に職員が参加し、事業所内で伝達研修を、行っていきます。		今後も積極的に参加させていただき、適切な対応に努めさせていただきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在まで、身体拘束を行う事例が、有りません。やむを得ずに行う場合は、適正な手続きを踏み進めてまいります。		現在、対象児童は、おりませんが、適正な手続き等の記載する体制を、図ってまいります。今後については、児童の安全確保のための行動制限に関しては、事前に子供や保護者様に説明し、了承を得る体制作りを努めていきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・利用開始時に、保護者の方々から聞き取りを元に対応させて、いただいております。 ・個人調査書の記入においても、確認しています。		今後も継続して、実施していきます。また、必要があれば、医師からの指示書を元に、対応させていただきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・危険な事例があった場合、報告書等に記載し、ミーティングを通して、職員で共有しています。 ・内部研修において、ヒヤリハットの事例検討を実施しています。		今後も、共有の周知徹底していき、安全に事業運営を行います。